

要件2)

日中・夜間等を通じて一定の医療ニーズが高いことを用いた施設要件の検討③

- 「精神的ニーズ」について、「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」におけるランクM(著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする)の者の割合でみると、療養病床から転換した介護老人保健施設では、既存の介護老人保健施設の4.7倍となっている。
- このことから、「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」におけるランクMの者が一定程度入所していることを要件としてはどうか。

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による比較

	介護老人保健施設			介護療養病床			療養病床から転換した介護老人保健施設	
在所者数	280,589			111,099			74,521	
認知症あり	262,401	93.5%		105,348	94.8%		70,332	94.4%
ランクⅠ	35,367	12.6%		5,455	4.9%		1,553	2.1%
ランクⅡ	82,827	29.5%		14,504	13.1%		10,277	13.8%
ランクⅢ	99,299	35.4%		36,408	32.8%		26,810	36.0%
ランクⅣ	39,260	14.0%		38,136	34.3%		24,675	33.1%
ランクM	5,648	2.0%		10,845	9.8%		7,017	9.4%

医療区分1  
及び  
区分2の30%

4.7倍